

---

## 岐阜県立各務原高等学校

学 校 長 居波 裕  
学校住所 各務原市蘇原新生町2丁目63番地 電話 058-383-1015

---

- 1 会議の名称 岐阜県立各務原高等学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- |     |       |                        |
|-----|-------|------------------------|
| 委 員 | 大野 正博 | 学識経験者（朝日大学法学部教授 法学部長）  |
|     | 鈴木 英已 | 関係機関等代表（各務原市立中央中学校長）   |
|     | 棚橋 雄二 | 企業関係者（(株)タイメック 代表取締役）  |
|     | 永田 洋  | 地域住民代表（自治会長）           |
|     | 福田 尚已 | 地域住民代表（各務原市役所市長公室 広報課） |
- （委員名は五十音順）
- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 学 校 側 | 居波 裕  | 校長     |
|       | 林 昭男  | 教頭     |
|       | 川地 晃正 | 教頭     |
|       | 中川 弘之 | 事務長    |
|       | 立川 茂  | 教務主任   |
|       | 松久 潤  | 生徒指導主事 |
|       | 関谷十糸子 | 進路指導主事 |
|       | 梅野 剛  | 特別活動部長 |
|       | 片桐 豊  | 渉外部長   |
- 3 会議の目的 ・岐阜県立各務原高等学校評議員会設置要綱に基づき、本校の教育方針と学校課題を説明し、本校の教育への提言を受ける。
- 4 会議の開催 令和元年7月17日（水） 10:00～12:00 校長室  
委員5人と学校側9人が出席
- 5 会議の概要

■授業見学、学校の教育方針と課題について説明をした後、本校へのご意見、ご提言をいただく。

- 学 校 長
- ・現在は、3年生に理数科、英語科があるが、来年度から普通科のみの高校になる。
  - ・令和3年度に50周年を迎える。これを機にステップアップしていきたい。
  - ・各務原市内の現中学3年生、2年生の人数が少ない。定員確保のためにいかに学校の特色を出し、アピールするかが課題である。

○各分掌からの方針と重点、具体的な取り組みと課題についての説明

教務部

- ・活力ある学校づくりについて
- ・学力の向上について
- ・業務の効率化の推進について

生徒指導部

- ・身だしなみ指導について
- ・通学安全指導について
- ・家庭との連携について

進路指導部

- ・進路指導体制について
- ・ガイダンス機能の充実について
- ・受験に対応できる学力・能力の育成について

特別活動部

- ・生徒会活動について
- ・部活動について

渉外部

- ・PTA行事について
- ・同窓会について

(1) テーマ 授業見学の感想・意見

- 意見 1
- ・生徒は集中して授業を受けていた。
  - ・授業の中で課題に対して追求し、調べて、自分の言葉で説明する場面があってもよいのではないか。
  - ・1時間の授業の中にまとめの場面を入れることは大切。この授業で何ができるようになったのか、何が理解できたのかを明らかにすると、生徒は達成感を味わうことができるのではないか。
  - ・ユニバーサルデザインの観点で、教室の前面に余分な掲示物が無いようにするのがよい。気になって集中が妨げられる生徒がいるかもしれない。
- 意見 2
- ・先生の言葉遣いが親しみやすい。キーパーソンとなる女子生徒を上手に指名しながら、クラス全体の理解度を評価し、授業を進めていた。
  - ・世界史は想像力を養う授業形態であった。他教科との連携に触れ、得られた知識の広がりを感じさせる場面があったことはよい。ペアワークがしっかり行われるとよい。
  - ・昨年と比べて、学校全体がきれいになっている。
- 意見 3
- ・講義形式で教師が一方的に話す授業が多かった。
  - ・数学の授業では1人の生徒への質問の受け答えが多く、生徒のディスカッションの場面があってもよい。
  - ・教室後ろのロッカーの上に物が煩雑に置かれている。掲示物も整理されるとよい。

(2) テーマ 教育方針と課題について

- 意見 1
- ・教育指導の重点を受けて、各部の方針・重点が打ち出せれば、計画・取り組みが具体的に示されていることはよい。
- 意見 2
- ・昨年の評議員会では、校則の見直しの話があったが、その後どうなったか。  
⇒ (生徒指導部) 学校外のことについては校則から除外する方向で見直しを進めている。
- 意見 3
- ・教務と生徒指導がよく頑張っている印象だ。少子化は分かっていること。学校の活性化のためには、部活動だけではダメで、部活動と学習の両面での取り組みが求められる。
- 意見 4
- ・日本も世界も変化している時代にあって、生徒が生きていく20年後、30年後はどうなっているか分からないが、生徒が自ら可能性を閉ざしてしまうことなく、無限の可能性が広がっていることを示してあげたい。
  - ・近隣では、50年前に各務原高校ができるときに、問題行動が起きるのではない

- かと懸念があったが、実際には大きな問題は起きていない。
- ・通学時の交通マナーについても苦情はない。

## 6 会議のまとめ

- 学 校 長
- ・貴重なご意見、ご提言を受け止め、日頃の教育活動によりよく生かしていきたい。大学入試改革や、部活動もガイドラインによる改革が行われている中であって、本校も特色を出して頑張っていきたい。